

イラン民主女性の会が緊急アピール

“アラブ地域でふたたび戦争を起こすのをやめて！”

イランと、米トランプ政権およびサウジアラビア、イスラエルという地域の同盟国の間の緊張が再び高まっています。戦争をやめさせなければ、またもや破滅がやってきます。イランと世界の平和勢力は、米国とイラン両政権による口先の脅しだけでなく、地域の武装部隊が大幅に展開していることを深刻に懸念しています。

軍事衝突は何も解決せず一般市民の生活を破壊するだけなのに、両政権は大資本や不労所得者の利益のために戦争を起こそうとし、市民運動を弾圧しています。イランでは5千人もの政治犯が拘束されました。この10年間だけでもアフガニスタン、イラク、シリア、リビア、イエメンで戦争がおこり、武器商人は何億ドルもの利益を上げました。ペルシャ湾への戦艦出動は、この地域のエネルギー資産を独占しようという米政権の目的に沿うものです。

一方でイラン市民の生活、自由と民主主義は壊滅状態です。現状打開のため、私たちは、自らを神の遣いと信じて暴政を行っている復古主義体制に対して、また、イランおよびこの地域への戦争を計画している勢力に対してたたかうしかありません。

女性と子どものいのちと暮らしを守り、自然資源を守るため、国連をはじめとする国際社会に訴えます。**戦争反対！ 経済制裁反対！ 独裁反対！**（6月、イラン民主女性の会）

イタリア**家父長制と性差別的な家族制度に反対**

ヴェローナで3月、第13回世界家族会議(WCF)に反対する大規模な女性パレードがおこなわれました。

WCFは離婚と中絶に反対する国際的なロビー団体で本部は米国のワシントンにあり、キリスト教原理主義と極右政治勢力に支持されています。WCFは、世界のあらゆるところで女性のたたかみが勝ち取った権利の中核（離婚、安全な中絶を選択する自由、家族法の改正、労働組合法）を攻撃し、家父長制と性差別主義的な家族モデルへの回帰を主張しています。

一方でWCFの行動指針は、女性に対する暴力、フェミサイド（女性殺害）、不平等、貧困、戦争といった苦しみには何ら触れていません。

イタリア政府がWCFを後援したことに憤る女性団体は、3月29～31日会議を開催し、どのような形態であれ自らの選択による家族には、より強い連帯、経済的社会的な保障、普遍的な福祉が保障される精神的・肉体的・性的によりよい健康、そして職場、家庭、社会におけるジェンダーに基づく暴力とあらゆる形態の抑圧や差別とたたかうための政策が必要であることを訴えました。

（地中海地域女性の会イタリア）

ブラジル 政府の年金改革は

大改悪！ 女性には最悪！

ボルソナロ大統領の年金改革案は、憲法違反、公的年金解体です。この提案は、貧困者、とくに女性、なかでも黒人女性を直撃します。ブラジルでは5,400万人以上が月収406レアル（約11,282円）の貧困状態、1,500万人が極貧にあえいでいます。

政権は、国立社会保障協会が損失を出したために改革が必要だと言いますが、ウソです！ 調査委員会によると、年金の基金は損失など出していません。一方で失業と不完全雇用は2800万人にまで増加し、そのほとんどが女性、世帯主である母親です。

改革案では年金受給のために女性は今より7年長く働かなければなりません。1日8時間30年間働く！ 年金受給までの道のりが2倍、3倍になる！ とんでもないことです。

強者の特権、脱税、債務逃れは許されません。企業は債務救済や債務免除を要求し、議員はそれを承認しています。大企業の多くはアグリビジネスや多国籍企業であり、後で議員の選挙を応援するのです。

国立社会保障協会の赤字というデマをもとに、政府は投資システムを提案しています。つまり、国民が銀行に貯金し、それを退職後の収入確保の唯一の道とさせるというのです。このシステムの唯一の目的は、国際金融システムに恩恵を与えることです。ゲデス経済相が創立した投資銀行バンコ BTG パクチュアルは、国内の5つのメガバンクの一つです。

私たちの収入から、どうやって預金しろというのでしょうか。ブラジルの最低賃金は998レアル(269ドル)、アルゼンチンの80%以下、パラグアイより低く、中南米で7位です。2019年の最賃引き上げが連邦議会で承認されたのに政権は8レアル削減しました。

チリでは、この投資システム導入で絶望した退職者の自殺が激増しました。ブラジルで2010年～2015年に自殺した70歳以上の高齢者は936人です。高齢者の90%以上は最賃の60%の収入しかありません。



ボルソナロ政権に立ち向かうために、ブラジル女性総連合は、国会内外でできる限り多様な部門の団結を提案しています。総連合の30周年記念イベントをサンパウロで開催し、議会戦線、労働組合センターなど多くの団体が参加し、社会保障と年金制度の改悪反対を訴えました！（写真）（数字は2017年）

（ブラジル女性総連合BWC/CMB）

▼2019年戦争はごめん女性のつどい

8月21日（水）18:30～

エデユカス東京（地下鉄麹町駅）

「朝鮮半島の平和プロセスと日本」

高林敏之／早稲田大学・立教大学講師

▼『女性白書2019 女性差別撤廃条約採択40年—世界と日本の到達・課題』

林陽子、山下泰子、角田由紀子、
最新資料・統計 8月発行 3300円＋税

▼婦団連ツアー チェコ周遊／平和・交流

10月9日～10月16日 8日間定員30名

37800円＋燃油付加運賃など

締切9月9日 婦団連、富士国際旅行社

国際カンパのお願い

婦団連は、国際民婦連の執行委員として活動しています。朝鮮半島の平和に向けての新たな情勢のもと、アジアと世界の非核・平和、ジェンダー平等の実現のため、国際連帯活動はますます重要です。

婦団連の国際活動は皆様のカンパで支えられています。日頃のご支援に感謝申し上げますとともに、今後ともご協力をよろしくお願いたします。

振込先・日本婦人団体連合会

郵便振替 00160-4-59402

